

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

2024年度第1四半期 決算ハイライト

2024年8月7日

目次

損益の状況 ... P2～9

ー 損益サマリー	… P2
ー トップライン（連結コア業務純益）	… P3
ー ボトムライン（連結純利益）	… P4
ー 〔補足〕コア業務純益（銀行合算）	… P5
ー 資金利益（銀行合算）	… P6
ー 連結非資金利益（除く債券損益）	… P7
ー 連結経費	… P8
ー 連結信用コスト	… P9

資産・負債等の状況 ... P10～13

ー 貸出金	… P10
ー 預金等（譲渡性預金含む）	… P11
ー 有価証券	… P12
ー 金融再生法開示債権・貸倒引当金	… P13

みんなの銀行関連 ... P14

本資料における表記・計数の定義

下記以外で特段の定義がある場合は、各ページにその詳細を記載しております。

FFG連結	ふくおかフィナンシャルグループ連結
銀行合算	福岡・熊本・十八親和・ <u>福岡中央（注）</u> の各行単純合算
既存3行	福岡・熊本・十八親和の各行単純合算
グループ合算	銀行合算+FFG証券
みんなの銀行関連	みんなの銀行とゼロバンク・デザインファクトリーの合算
当期純利益	単体・銀行合算の当期（中間・四半期）純利益
連結純利益	親会社株主に帰属する当期（中間・四半期）純利益

（注）福岡中央銀行の計数について

- 当社と福岡中央銀行は2023年10月1日に経営統合いたしました。
- 福岡中央銀行の損益は2023年度下半期（6ヶ月）以降、残高は経営統合以降の計数に対し、必要な調整を行ったうえで連結・合算しております。なお、**2023年9月末以前の計数には同行の計数を含んでおりません。**

損益サマリー

損益の状況

FFG連結 (単位：億円)	2024/1Q		2023/1Q
		前年比	
コア業務粗利益（※）	672	+46	625
経費	▲ 393	+26	368
コア業務純益	1 278	+21	257
信用コスト	▲ 2 4	▲ 34	30
銀行合算	▲ 17	▲ 33	16
子会社等	13	▲ 1	14
有価証券関係損益	20	+5	15
経常利益	307	+68	239
特別損益	▲ 4	▲ 5	1
連結純利益	3 209	+43	166

年度計画*	進捗率
1,020	27.3%
119	▲ 3.4%

銀行合算 (単位：億円)	2024/1Q		2023/1Q
		前年比	
コア業務粗利益（※）	622	+41	581
資金利益	538	+27	511
国内部門	504	+18	486
国際部門	34	+9	25
非資金利益（除く債券損益）	84	+13	70
経費	▲ 307	+24	283
コア業務純益	315	+17	298
経常利益	355	+62	293
当期純利益	4 258	+42	216
信用コスト	▲ 17	▲ 33	16

年度計画*	進捗率
995	30.8%
685	30.5%
1,186	26.6%
1,212	29.3%
892	28.9%
63	▲ 26.4%

(1) 業績ハイライト（FFG連結）

1 コア業務純益 278億円（前年比+21億円）▶詳細P3

【年度計画1,020億円に対する進捗率 27.3%：順調に推移】

— 貸出金利回り反転による国内資金利益の増加や、投資信託・保険収益等の非資金利益も堅調に増加したことにより、前年比+21億円の増益

2 信用コスト 4億円の戻り益（前年比+34億円）▶詳細P9

— 銀行合算は大口回収等の発生を主因に戻り益を計上（前年同期は繰入）
— 子会社等（保証子会社・みんなの銀行等）は概ね前年並みの水準で推移

3 連結純利益 209億円（前年比+43億円）▶詳細P4

【年度計画685億円に対する進捗率 30.5%：順調に推移】

— コア業務純益の増加、信用コストの戻り益計上を主因として前年比+43億円の増益

(2) ボトムラインの連単差

(単位：億円)	2024/1Q	前年比	2023/1Q
当期純利益（銀行合算）	4 258	+42	216
FFG単体	▲ 34	+2	▲ 36
みんなの銀行関連	▲ 19	+1	▲ 21
子会社損益	12	+3	9
その他連結調整	▲ 7	▲ 4	▲ 2
連結純利益	3 209	+43	166

前年比増減要因

【FFG単体、みんなの銀行関連、子会社損益】

— 概ね前年並みの水準

【その他連結調整】

— FFGリースを持分法適用関連会社としたことに伴い特別損失（持分変動損失）▲3億円計上

*2024年5月13日決算短信及び同年5月28日会社説明会における公表値

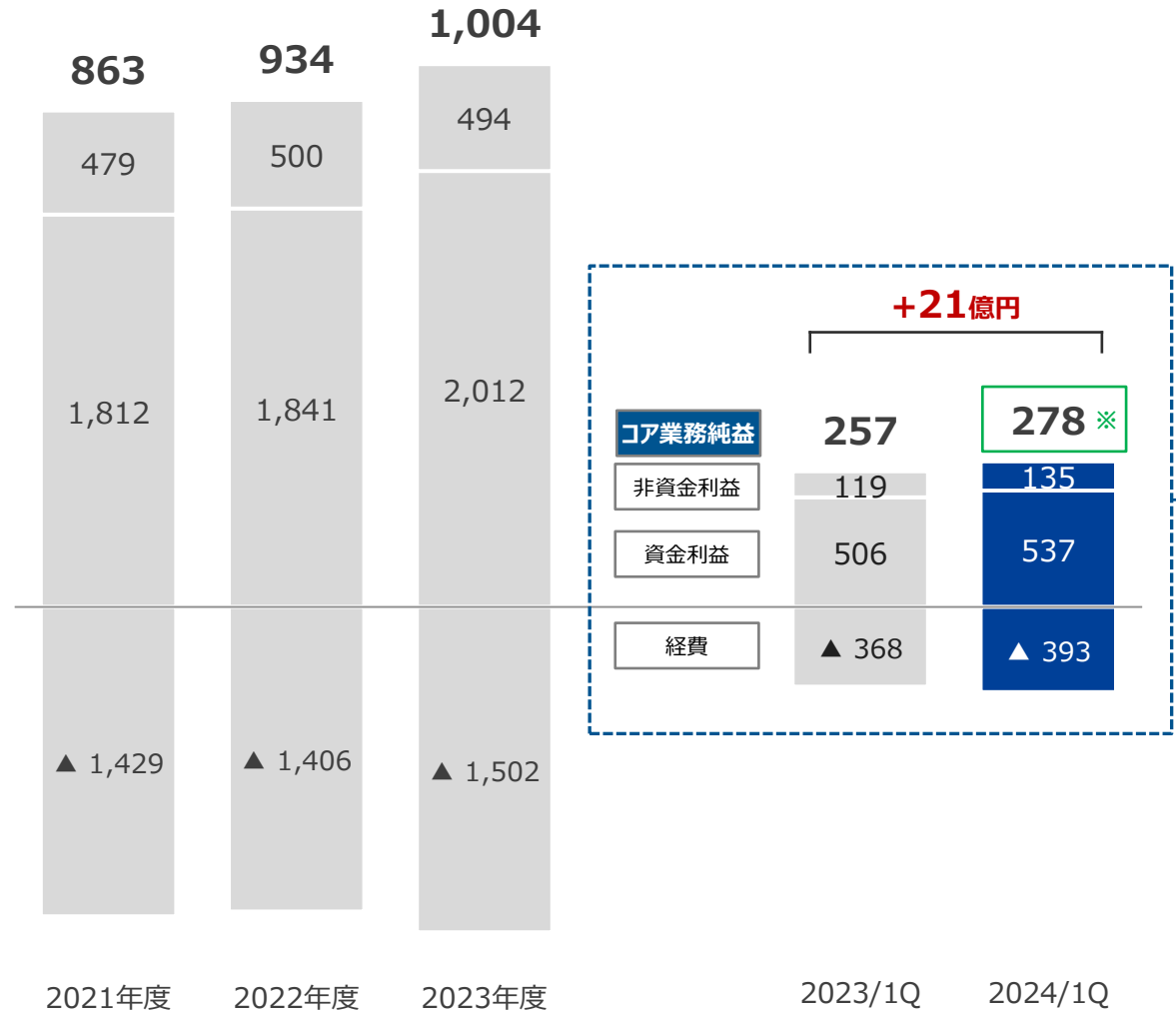
(※) コア業務粗利益＝業務粗利益－債券損益

トップライン（連結コア業務純益）

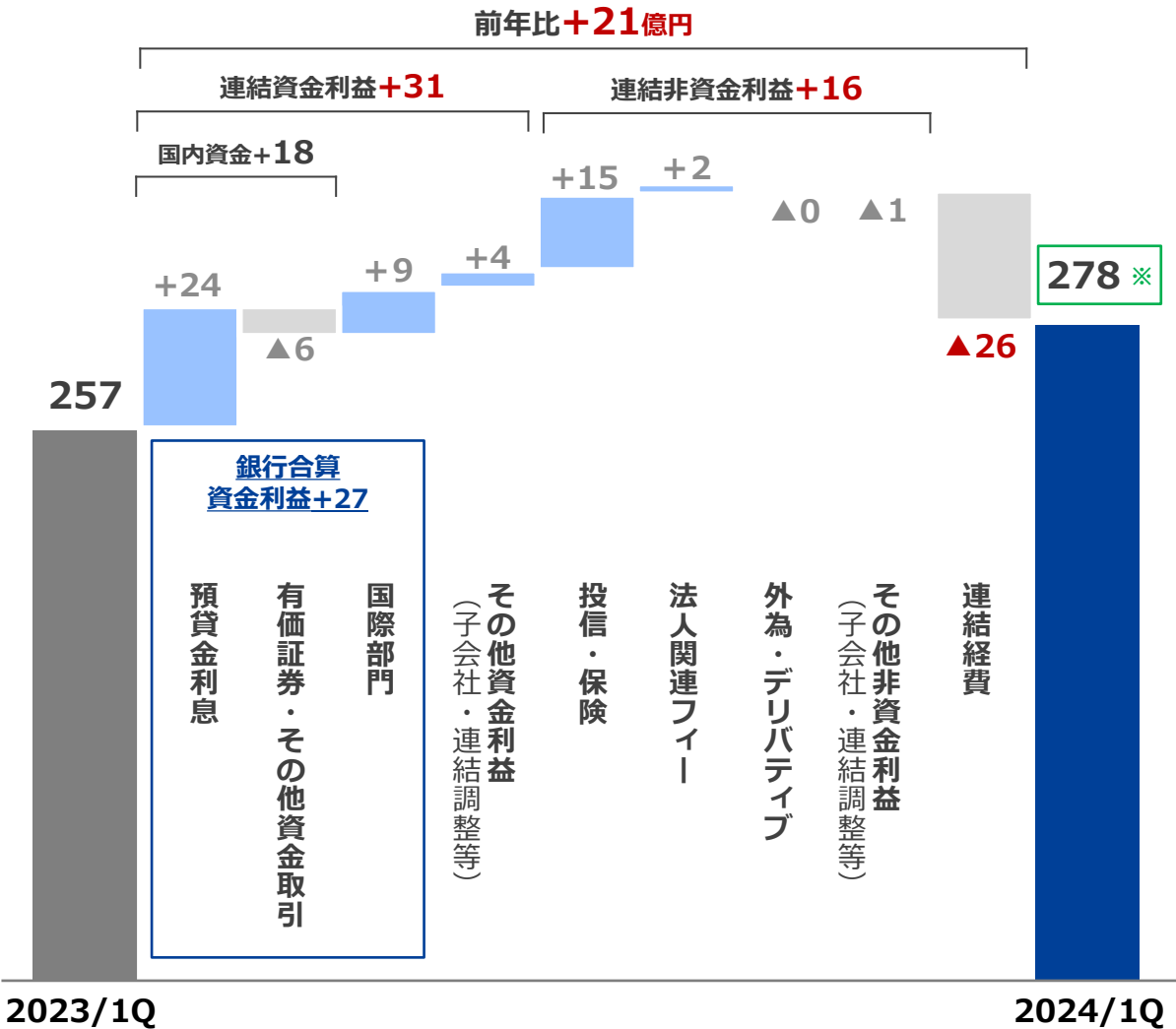
損益の状況

コア業務純益の推移（FFG連結）

〔非資金利益〕 除く債券損益、〔経費〕 除く臨時処理分



前年比増減の内訳（FFG連結）

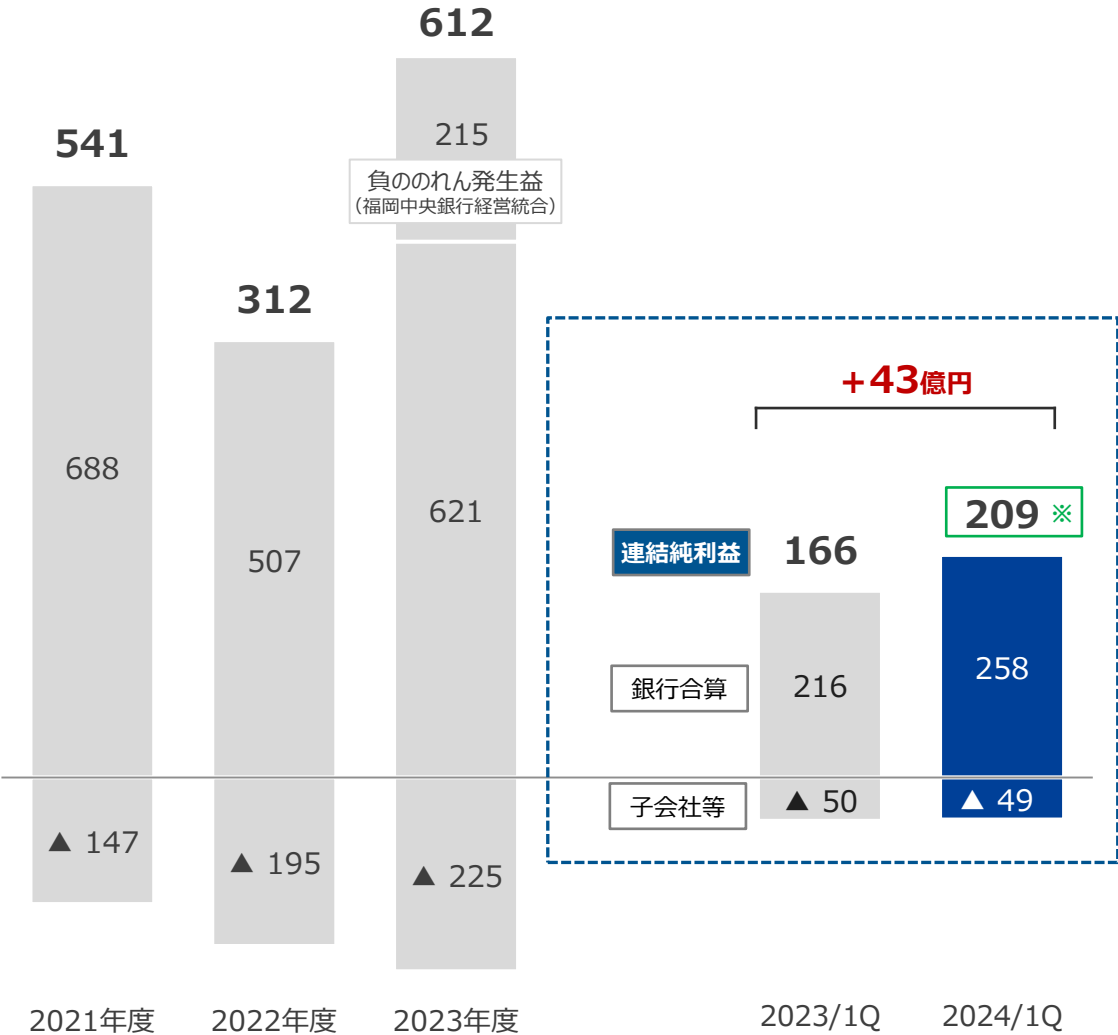


※うち福岡中央銀行〔単体〕：3億円

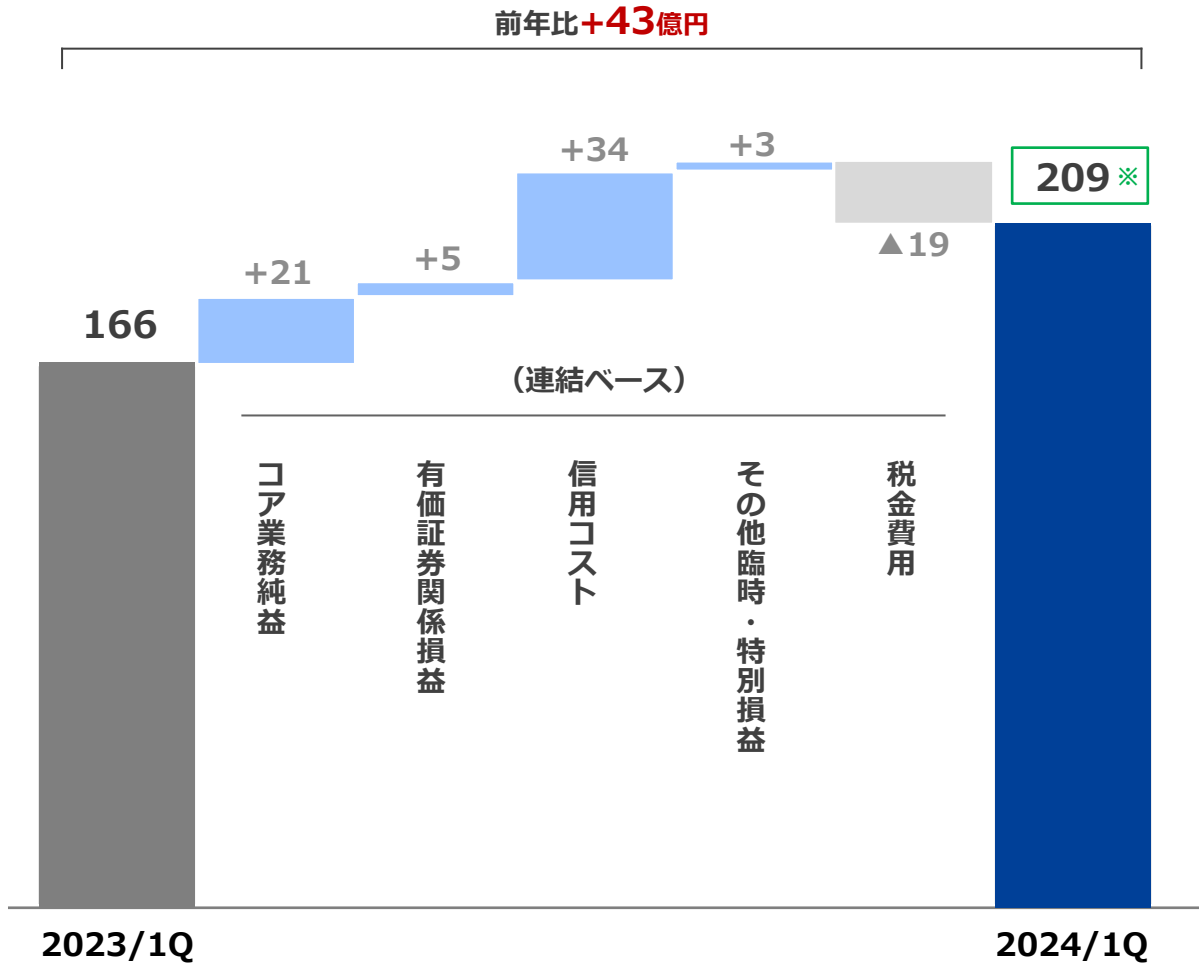
ボトムライン（連結純利益）

損益の状況

連結純利益の推移 (単位：億円)



前年比増減の内訳 (単位：億円)



※うち福岡中央銀行〔単体〕：1億円

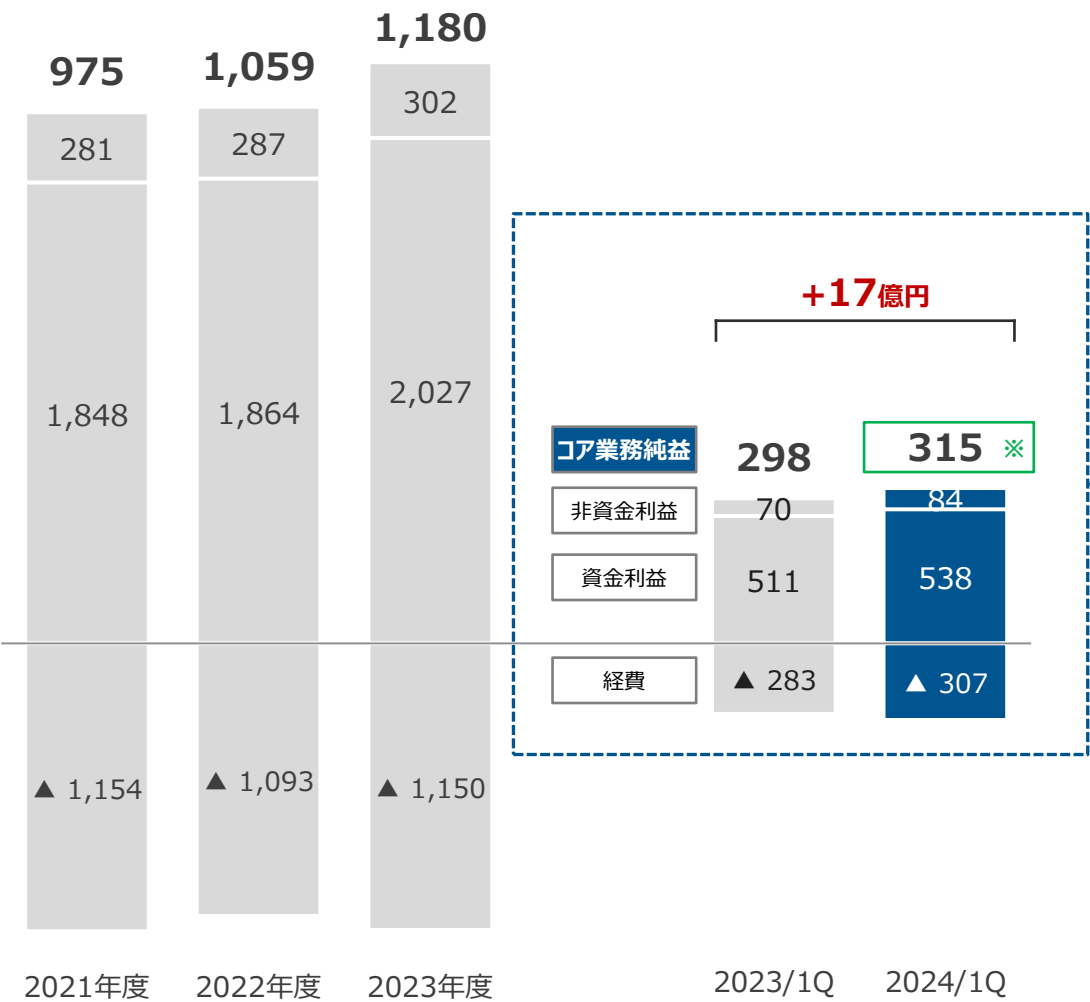
【補足】コア業務純益（銀行合算）

損益の状況

コア業務純益の推移（銀行合算）

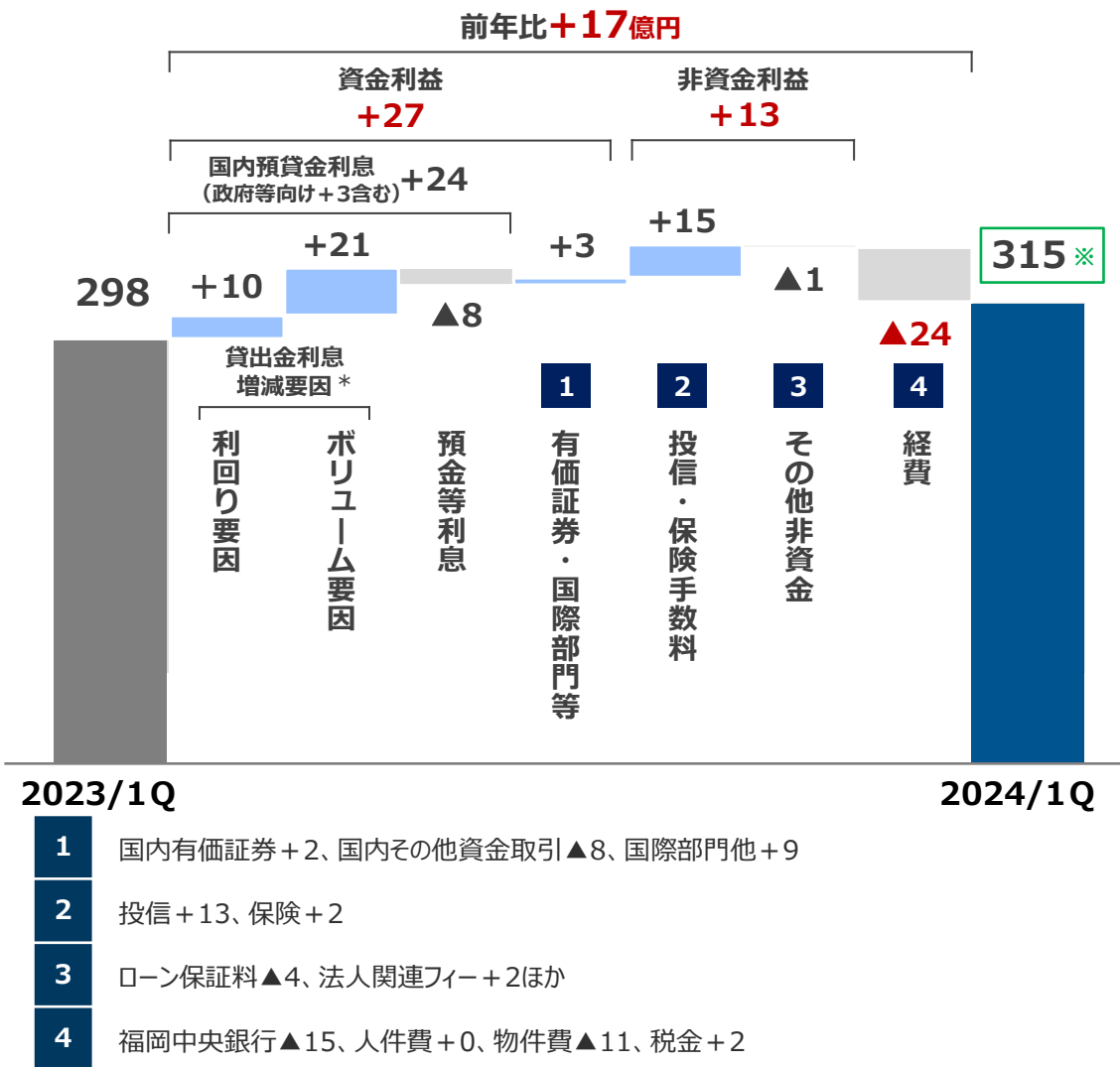
（単位：億円）

[非資金利益] 除く債券損益、[経費] 除く臨時処理分



前年比増減の内訳（銀行合算）

（単位：億円）



※うち福岡中央銀行 [単体]：3億円（資金利益18、非資金利益0、経費▲15）

*福岡中央銀行の2024/1Q貸出金利息（+15億円）は「ボリューム要因」に含めております。

資金利益（銀行合算）

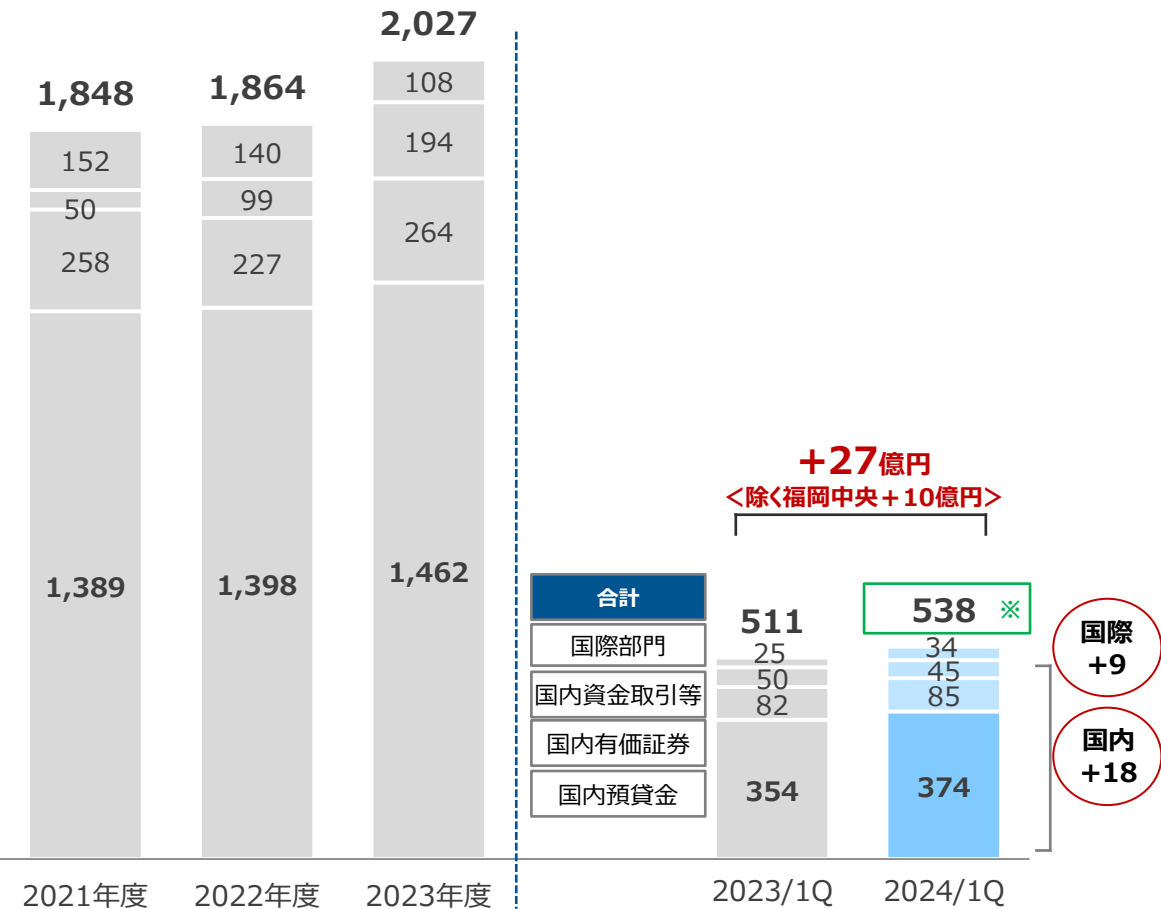
損益の状況

● 資金利益は前年比 + 27億円増益。国内部門は福岡中央銀行の資金利益を合算した影響と、利回り反転に伴う貸出金利息の増加を主因に +18億円増益、国際部門は外債利息の増加を主因に +9億円増益。

資金利益（銀行合算）

(単位：億円)

国内預貸金：政府向け貸出金、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く

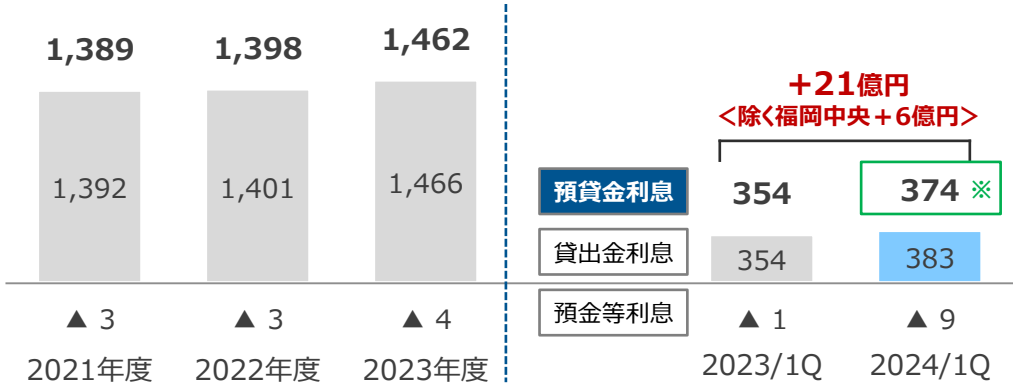


※うち福岡中央銀行 [単体] : 18億円

国内預貸金利息（銀行合算）

(単位：億円)

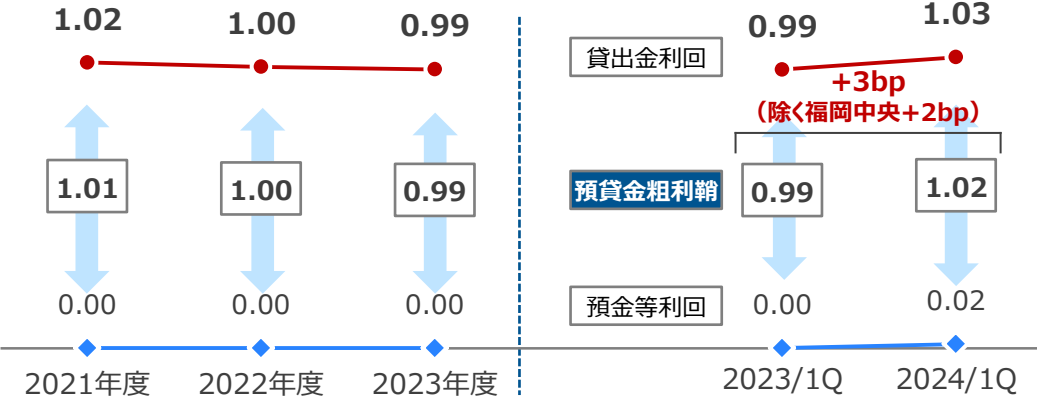
国内預貸金：政府向け貸出金、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く



国内預貸金粗利鞘（銀行合算）

(単位：%)

貸出金利回：政府向け貸出金、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く



※うち福岡中央銀行 [単体] : 15億円

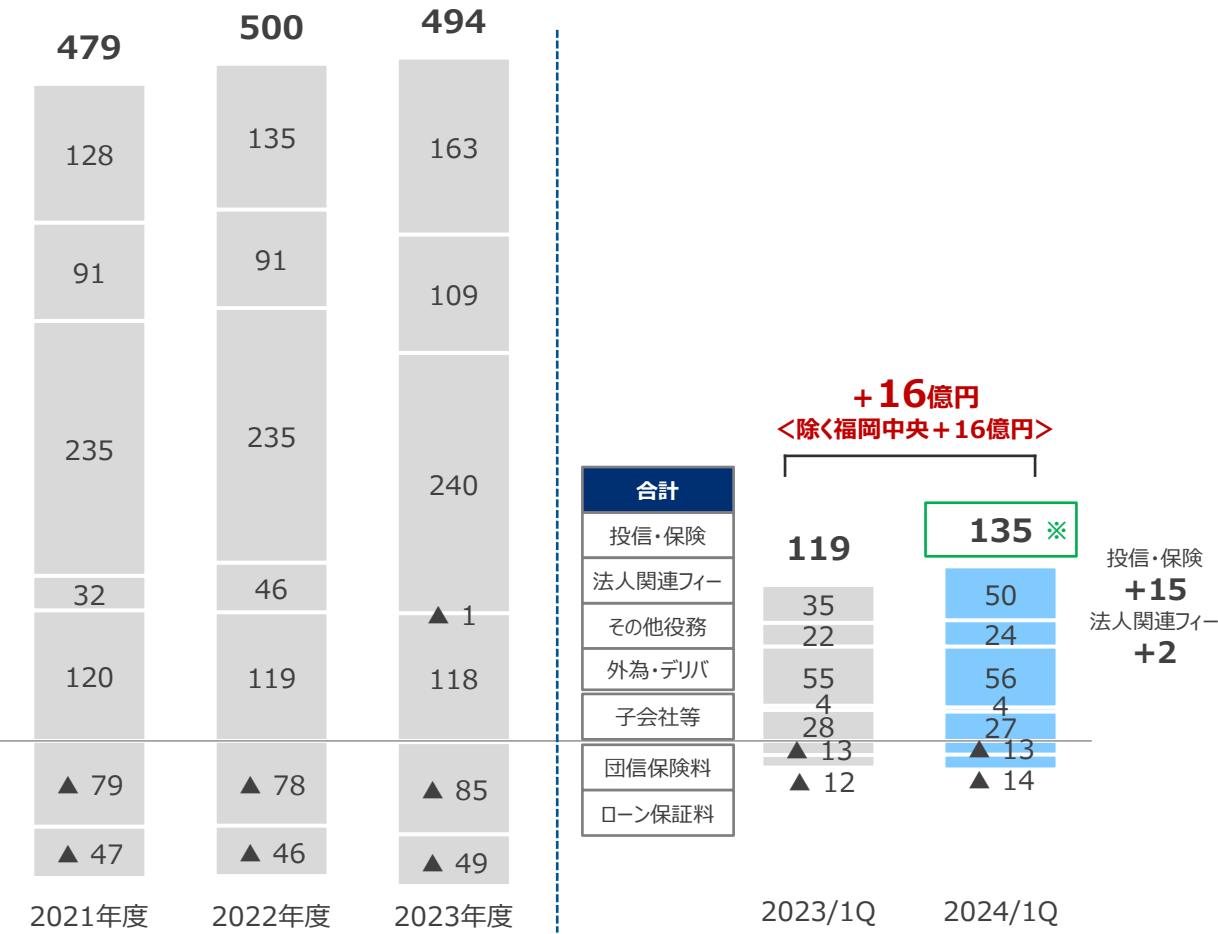
連結非資金利益（除く債券損益）

損益の状況

● 連結非資金利益は前年比 + 16億円増益。投資信託・保険手数料（前年比+15億円）や法人関連フィー（同 + 2億円）が堅調に推移したことが主因。

非資金利益（FFG連結）

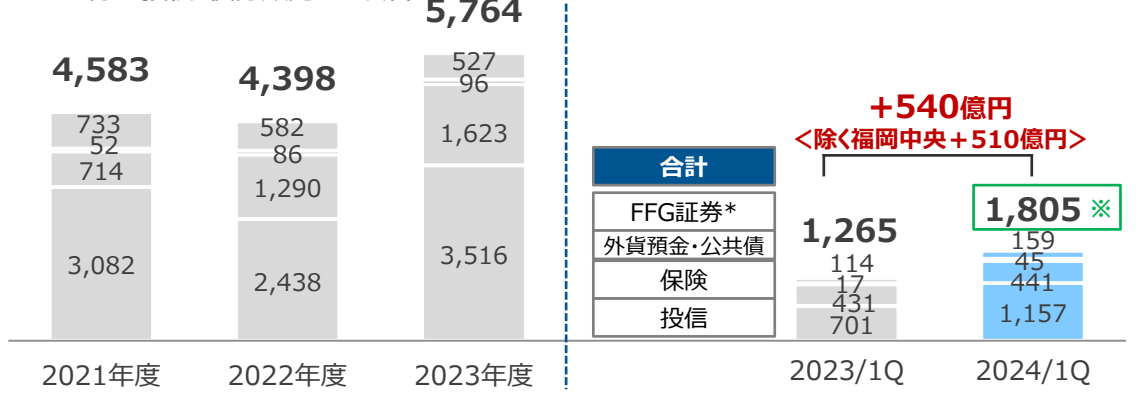
法人関連フィー：融資手数料（シ・ローン、ストラクチャードファイナンス等）・M&A手数料等



※うち福岡中央銀行〔単体〕：0億円

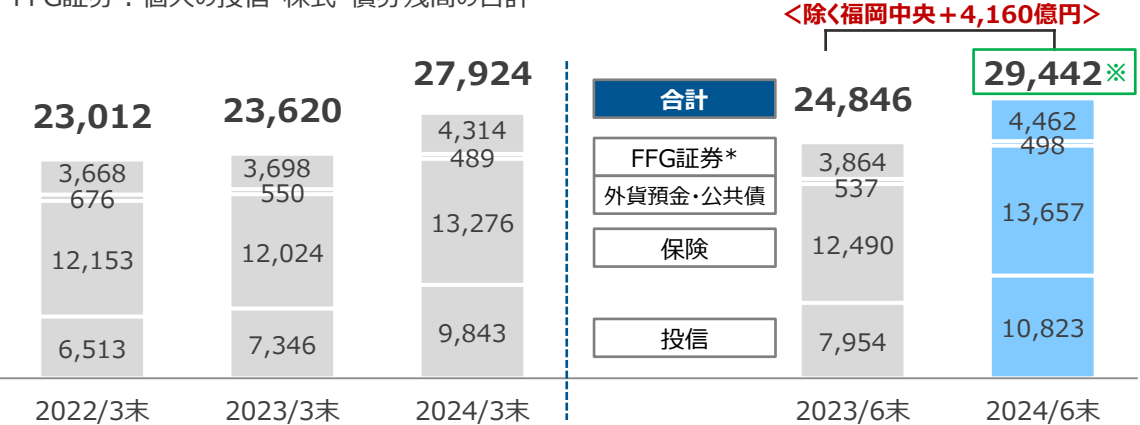
資産運用商品販売額（グループ合算）

*FFG証券：投信・債券販売額の合計



個人預り資産残高（グループ合算）

*FFG証券：個人の投信・株式・債券残高の合計



※うち福岡中央銀行〔単体〕：〔販売額〕30億円、〔残高〕435億円

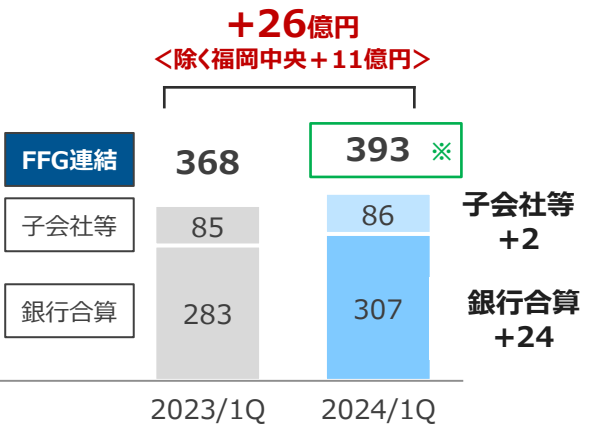
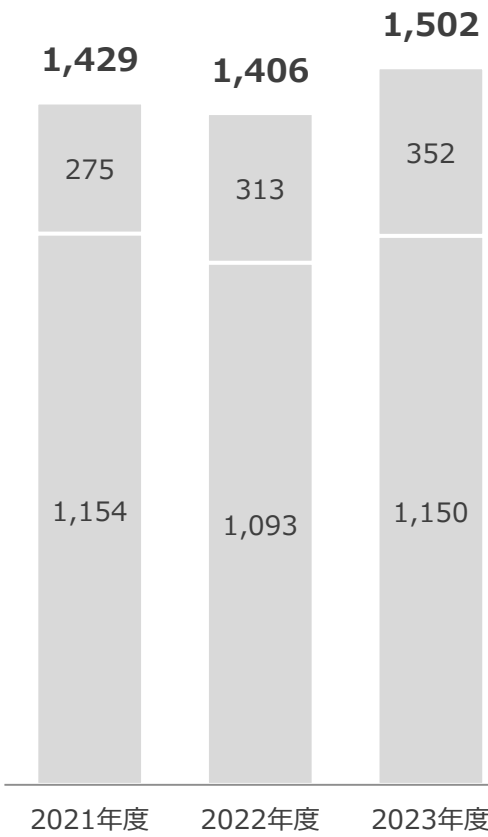
連結経費

損益の状況

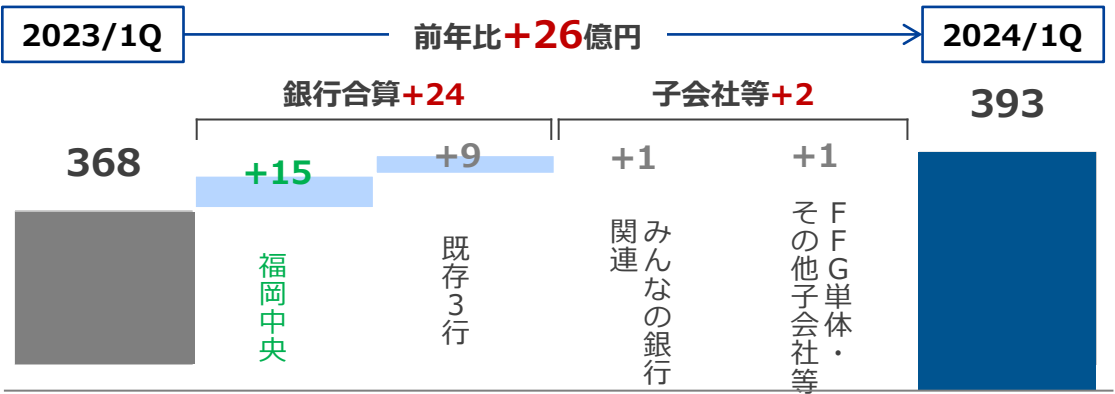
● 連結経費は前年比 + 26億円増加。福岡中央銀行の経費を合算した影響（+ 15億円）のほか、賃上げ（人件費）、CM・キャンペーン費用（物件費）の増加が主因。連結コアOHRはコア業務粗利益の増加により58.6%と前年比▲0.2%改善。

経費の推移（FFG連結）

【除く臨時処理分】

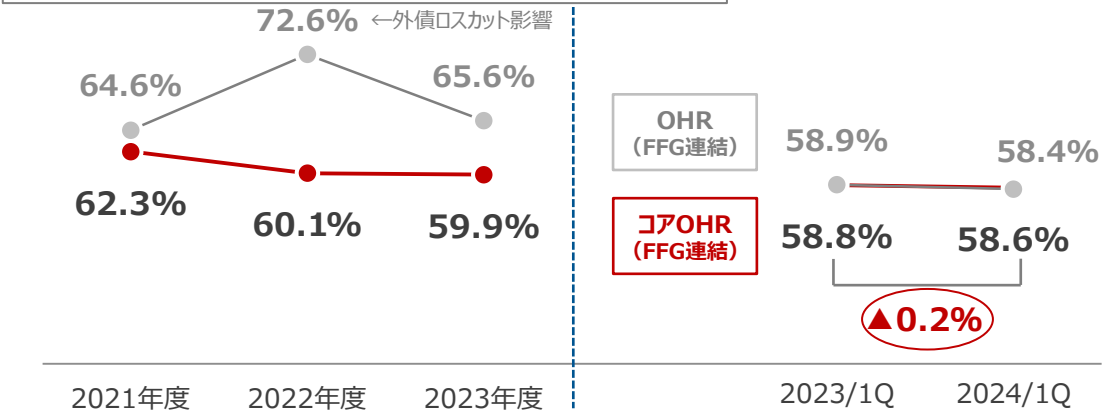


前年比増減の内訳



コアOHR（FFG連結）

OHR（%）＝経費（除く臨時処理分）÷業務粗利益
コアOHR（%）＝経費（除く臨時処理分）÷コア業務粗利益



※うち福岡中央銀行 [単体] : 15億円

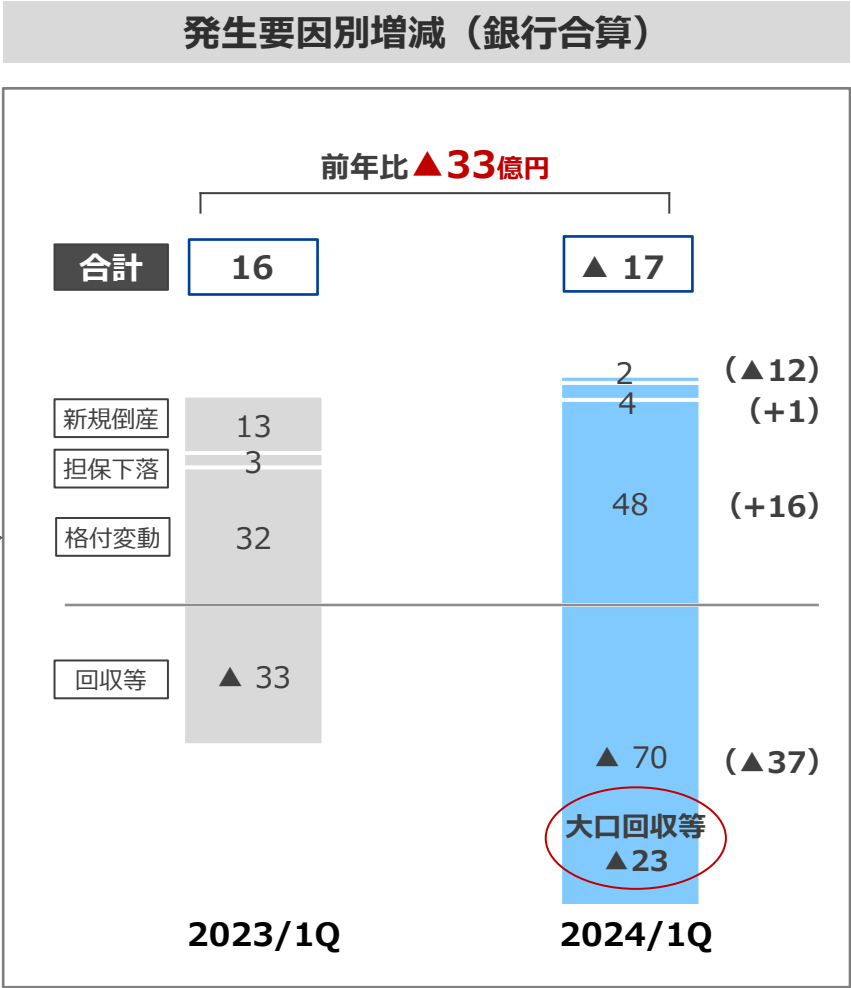
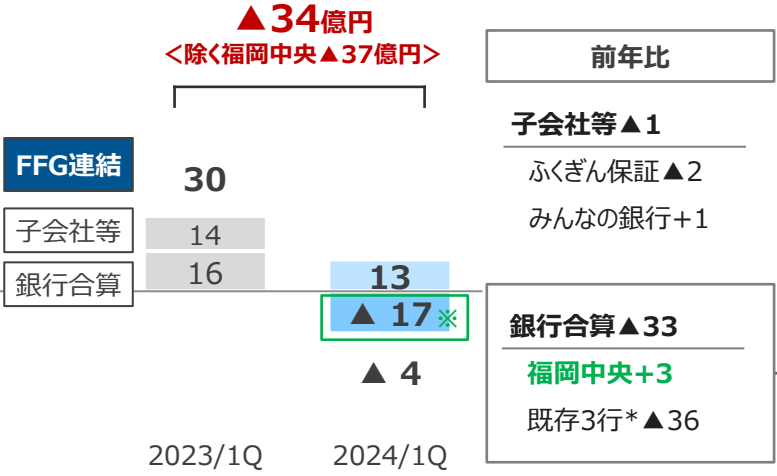
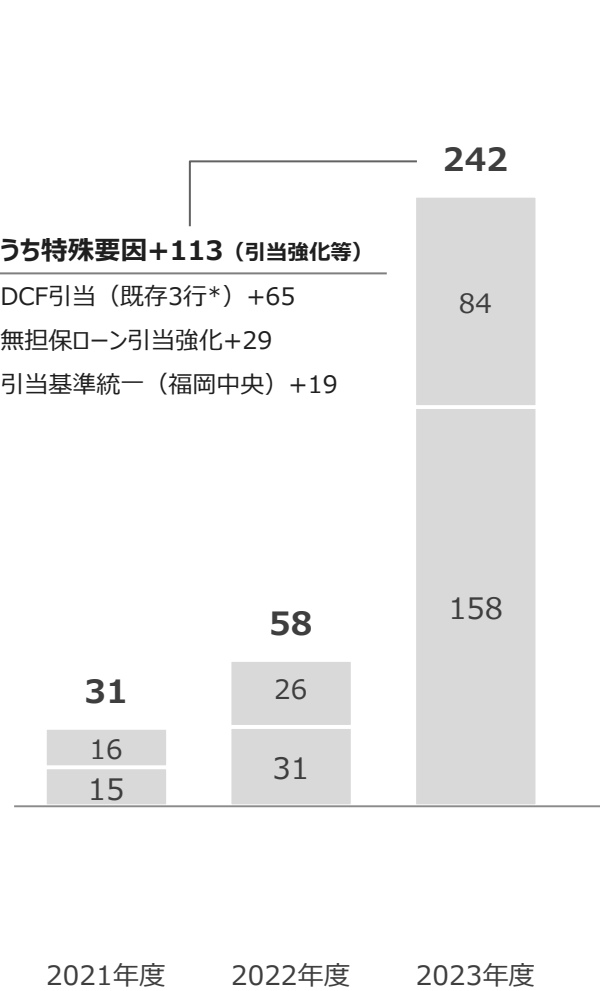
連結信用コスト

損益の状況

● 銀行合算における大口回収等の発生を主因として、信用コストは4億円の戻り益計上（前年比▲34億円の減少）。

信用コスト（▲）の推移（FFG連結）

（単位：億円）



*福岡・熊本・十八親和の合算

貸出金

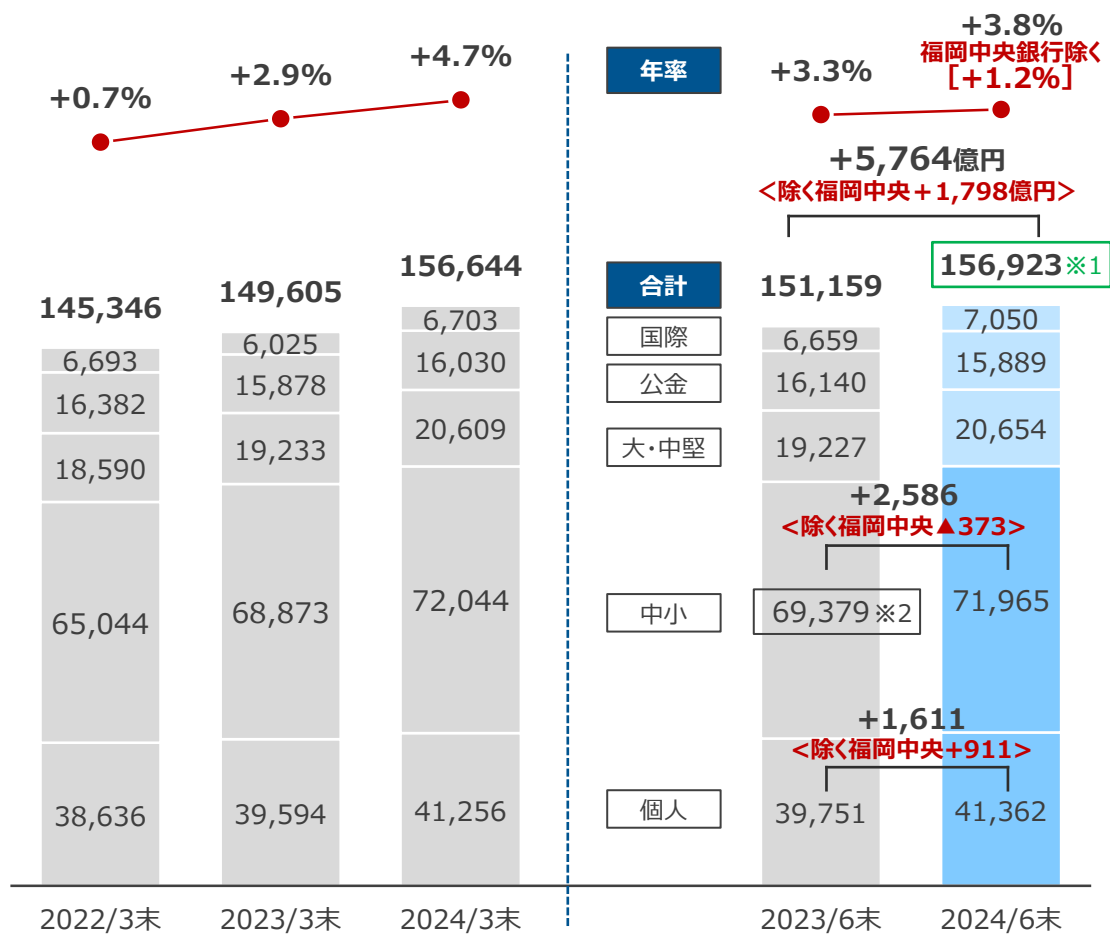
資産・負債等の状況

- 銀行合算の期末残高は15兆6,923億円、平均残高は15兆5,850億円。
- なお、福岡中央銀行除く期末残高は前年比+1,798億円（年率+1.2%）、平均残高は同+1,642億円（年率+1.1%）。

期末残高（銀行合算）

(単位：億円)

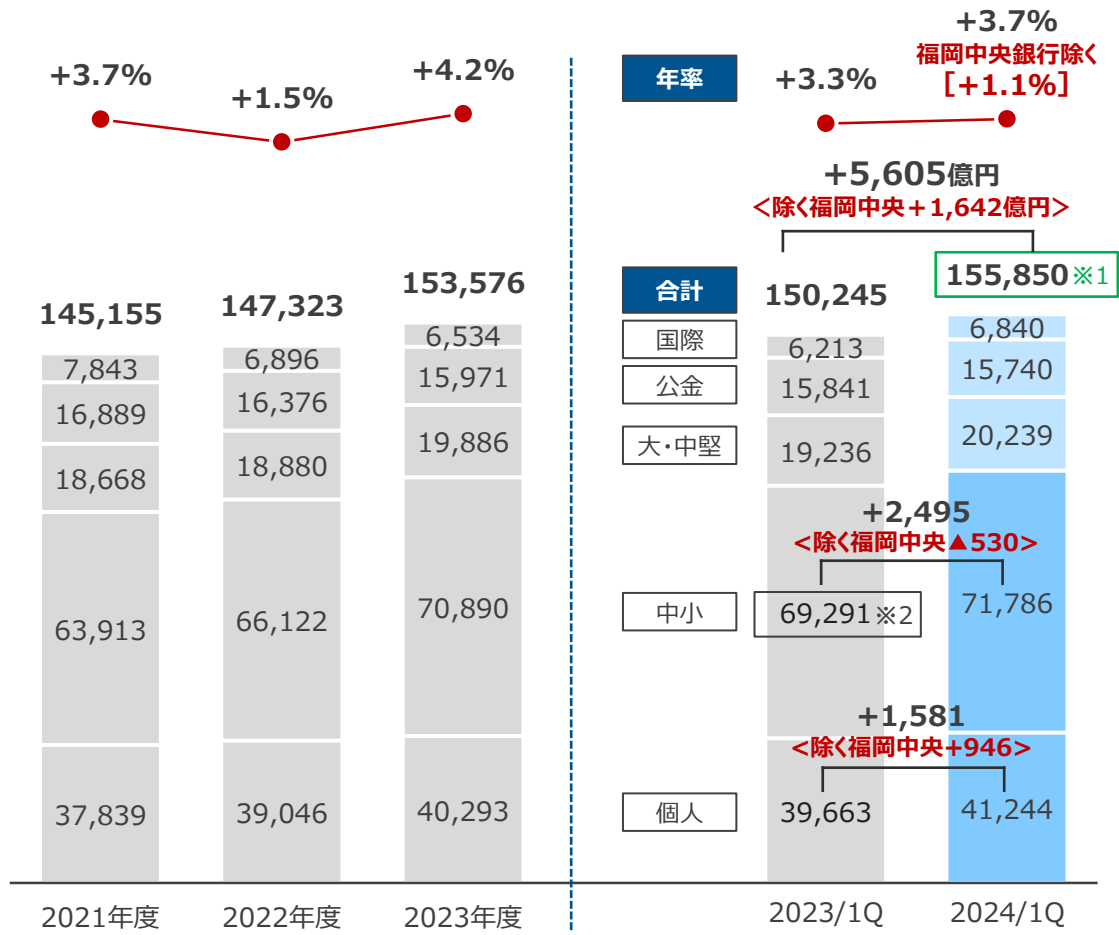
政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大中堅）を除く



平均残高（銀行合算）

(単位：億円)

政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大中堅）を除く



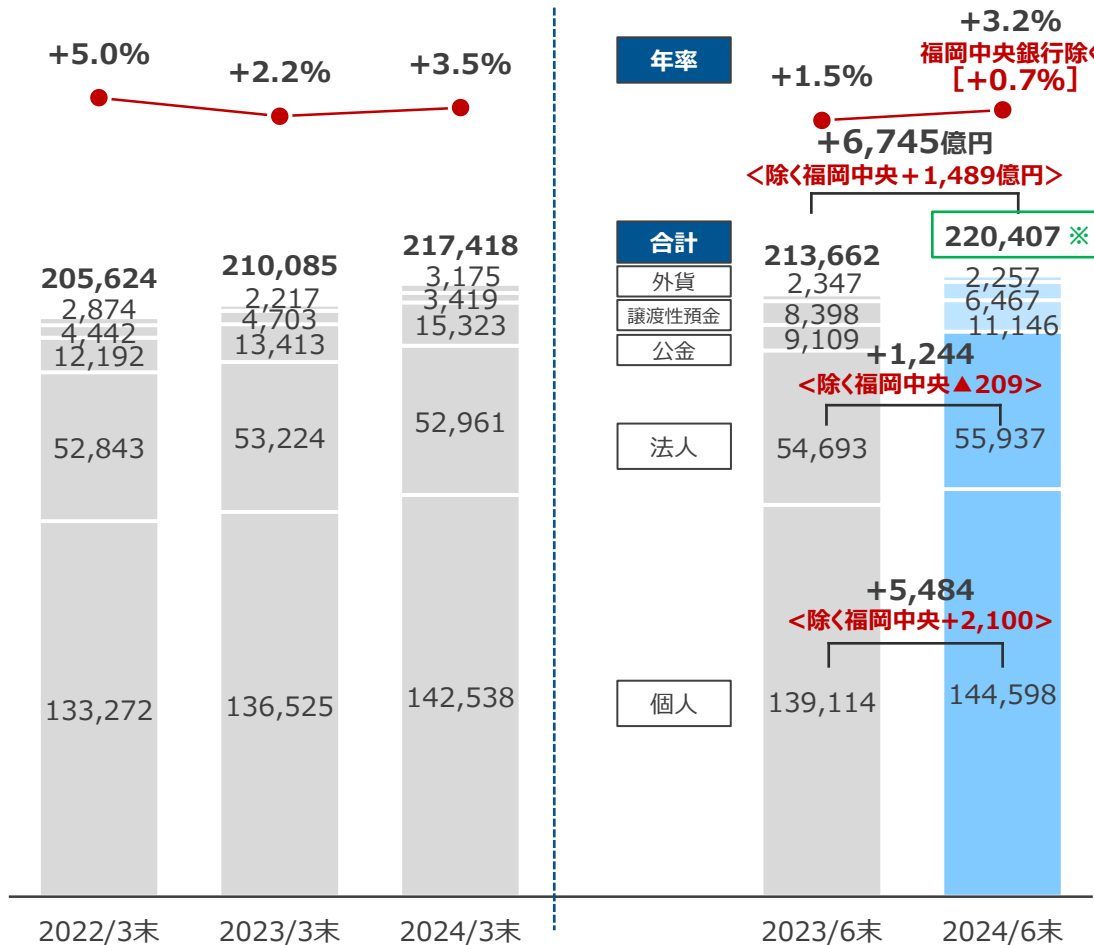
※1 うち福岡中央銀行 [単体] 2024/6末残高：3,965億円、2024/1Q平均残高：3,963億円 ※2 「中小」の2023/6末残高及び2023/1Q平均残高には大口スポット要因2,100億円（期間1年未満の短期貸出金）を含む

預金等（譲渡性預金含む）

資産・負債等の状況

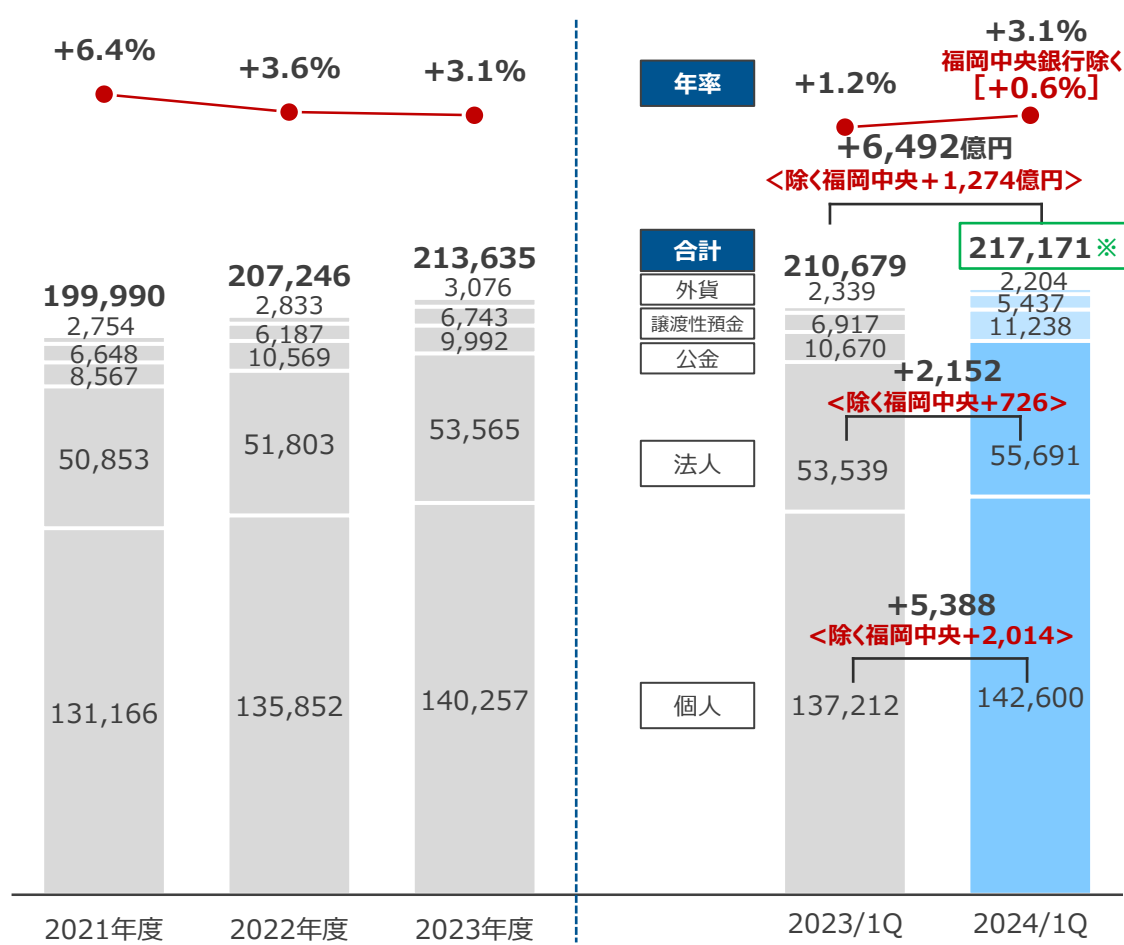
- 銀行合算の期末残高は22兆407億円、平均残高は21兆7,171億円。
- なお、福岡中央銀行除く期末残高は前年比+1,489億円（年率+0.7%）、平均残高は同+1,274億円（年率+0.6%）。

期末残高（銀行合算）
(単位：億円)



※うち福岡中央銀行〔単体〕2024/6末残高：5,255億円

平均残高（銀行合算）
(単位：億円)



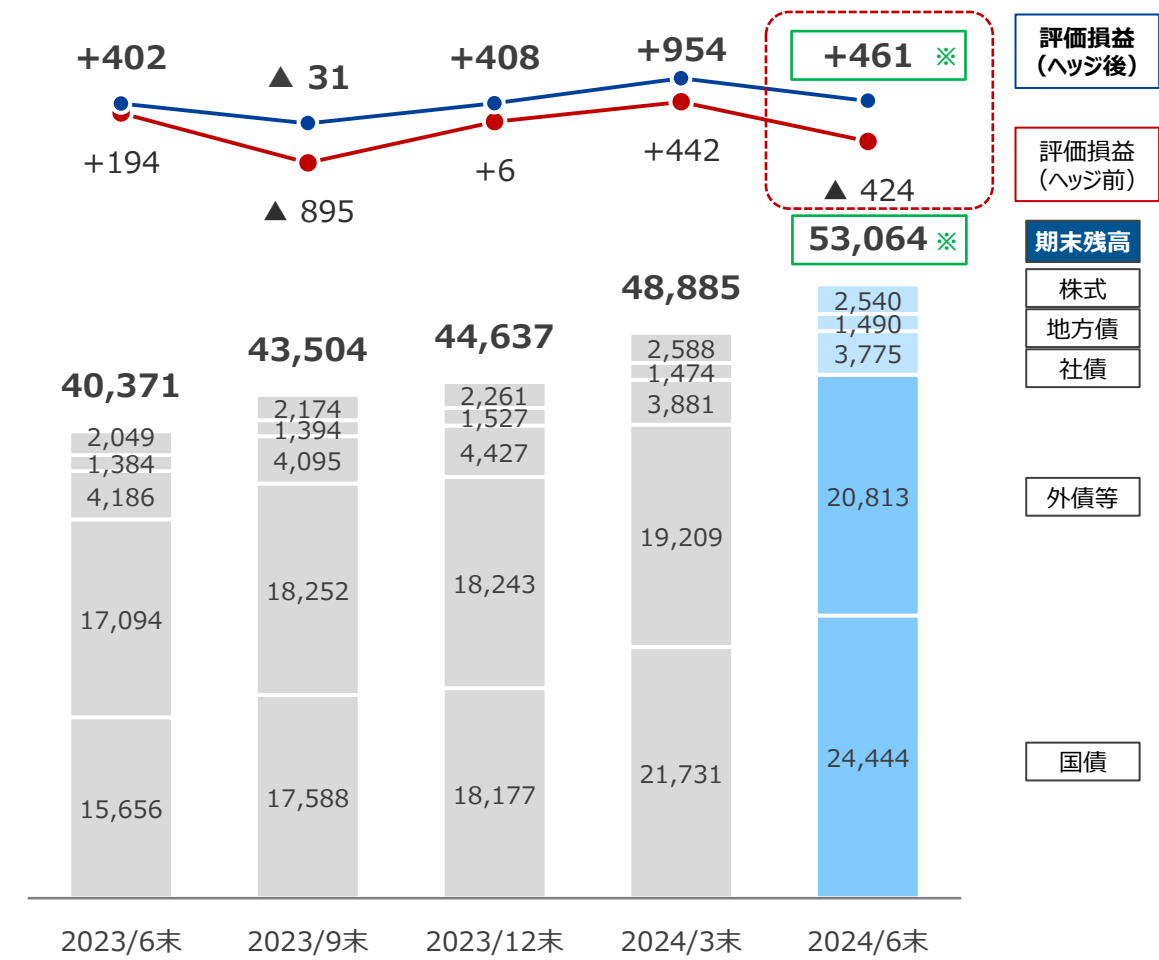
※うち福岡中央銀行〔単体〕2024/1Q平均残高：5,218億円

有価証券

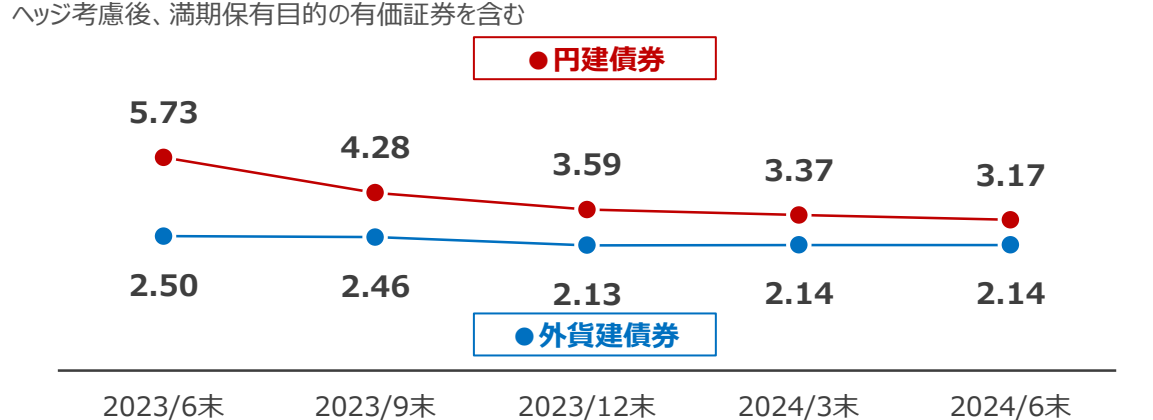
資産・負債等の状況

- 国内金利上昇による国債含み損の拡大を主因にヘッジ前の評価損益は含み損となるも、ヘッジ考慮後は+461億円のプラス。
- 円建債券デュレーションは、中期債を中心とした投資により3年程度の水準まで短期化。

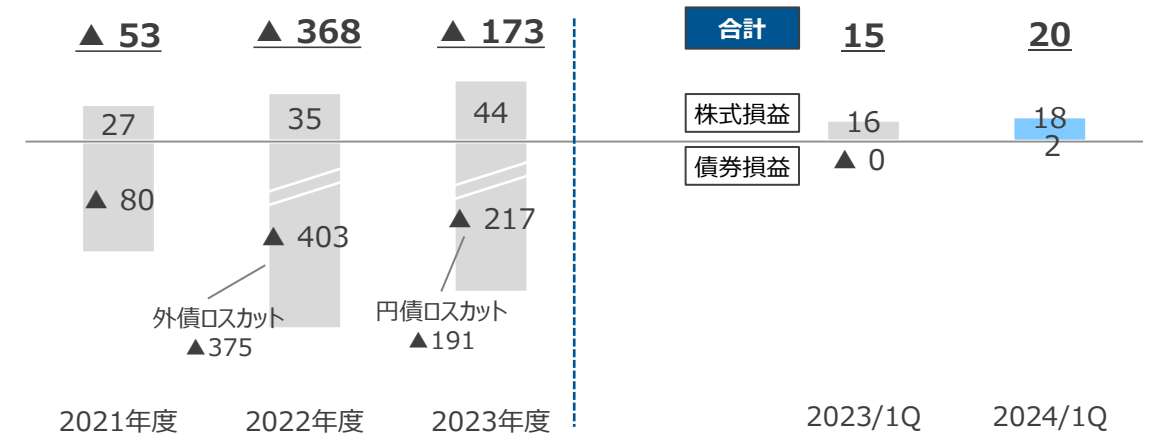
期末残高・評価損益（FFG連結）
(単位：億円)



債券デュレーション（銀行合算）
(単位：年)



有価証券関係損益（FFG連結）
(単位：億円)



※うち福岡中央銀行 [FFG連結ベース] 2024/6末残高：1,484億円 評価損益：+7億円の含み益

金融再生法開示債権・貸倒引当金

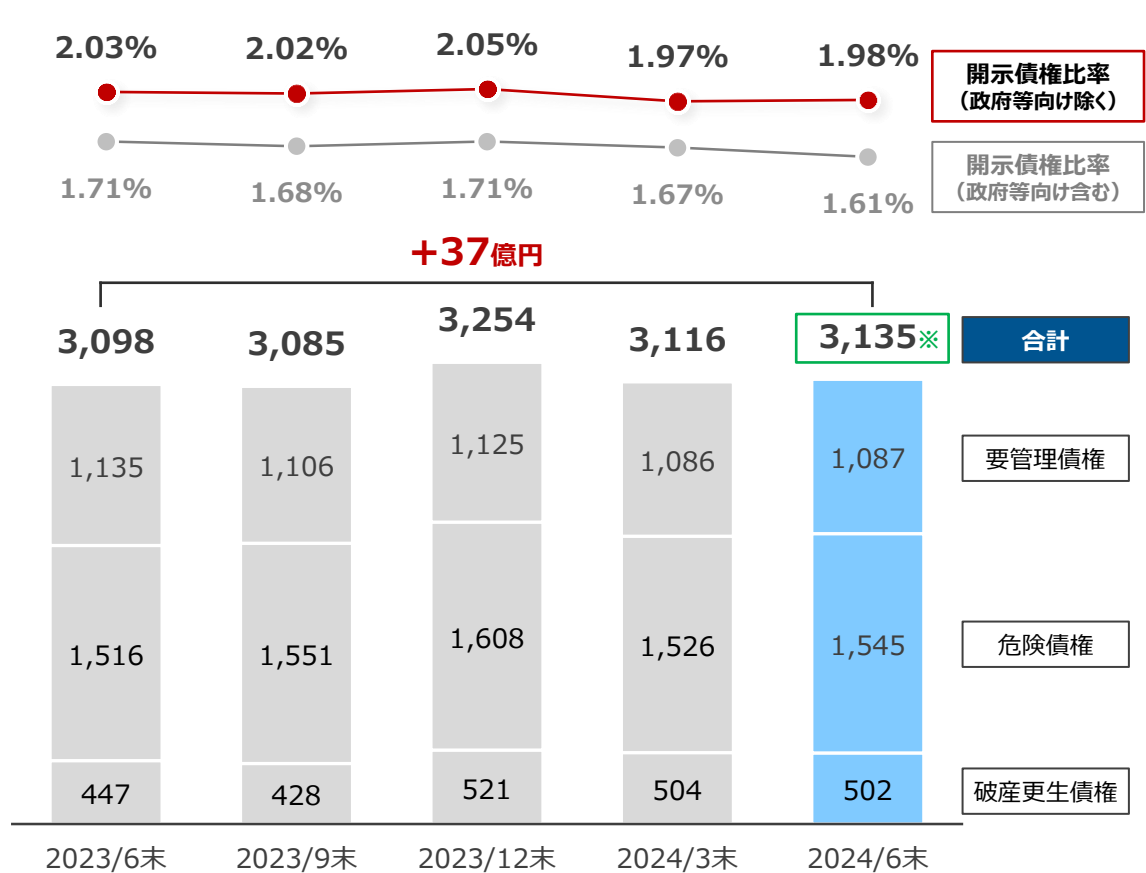
資産・負債等の状況

- 開示債権残高は低位に推移しており、貸出金等のポートフォリオに悪化はみられない。
- 貸出金等の全体に対する貸倒引当金の水準（引当率）は1.3%程度と引続き高い水準を維持。

金融再生法開示債権残高・比率（FFG連結）

(単位：億円)

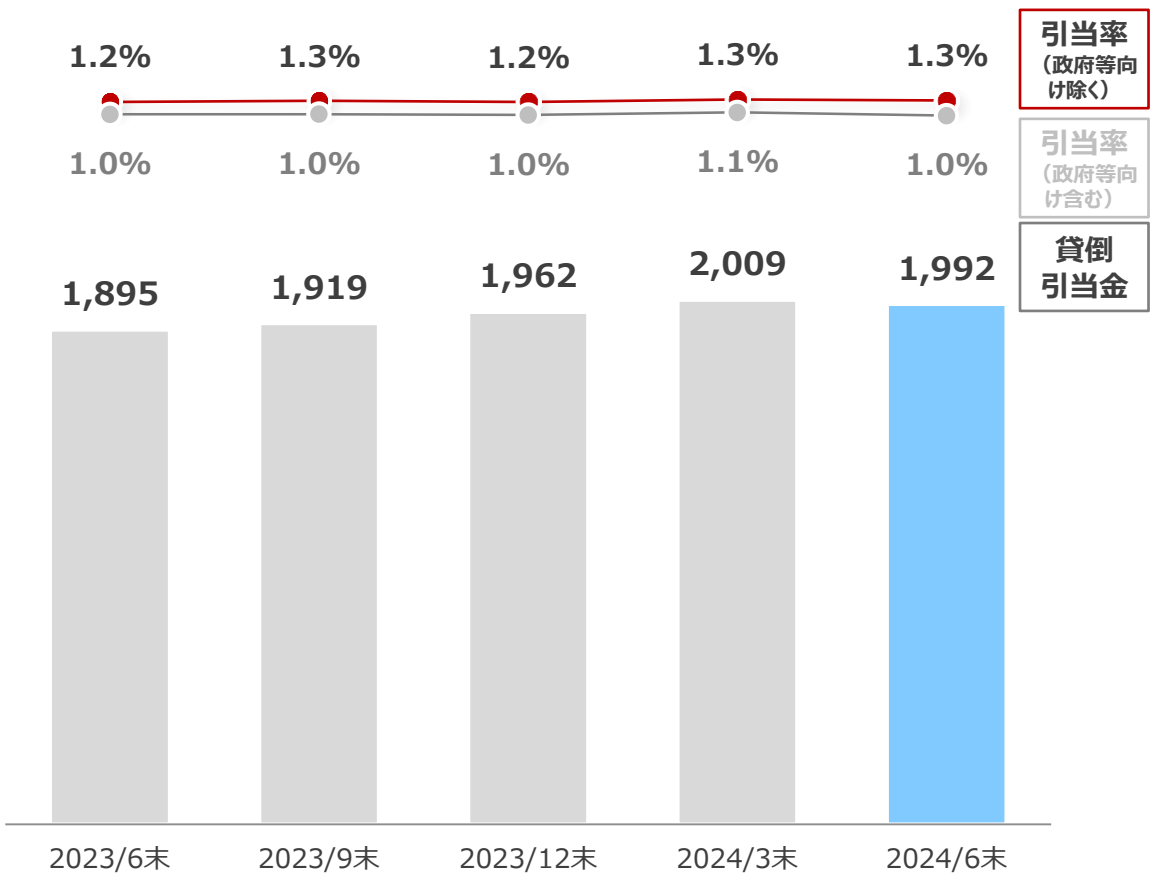
政府向け、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く



貸倒引当金・引当率（FFG連結）

(単位：億円)

政府向け、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く
引当率 = 貸倒引当金 ÷ 総与信残高（金融再生法ベース）



※うち福岡中央銀行2024/6末残高：197億円 開示債権比率（政府向け除く）影響：+0.08%

みんなの銀行関連

みんなの銀行

- 口座数は100万口座を突破。預金は前年度末比+52億円増加の307億円。
- 貸出金は保証付ローンを主としてLoanが伸長し、前年度末比+45億円の185億円。不良債権比率は4.86%と改善基調。

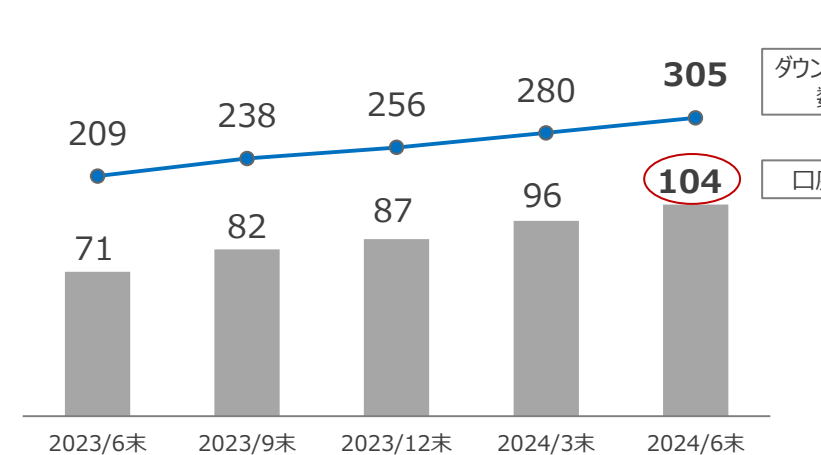
損益サマリー（みんなの銀行関連※）（単位：億円）

2024/1Q 実績	2024/1Q	前年比	2023/1Q
業務粗利益	4	+3	1
資金利益	4	+3	2
うち貸出金利息	5	+3	2
非資金利益(除く債券損益)	▲ 0	▲ 0	▲ 0
経費 (△)	26	+1	26
コア業務純益	▲ 22	+2	▲ 24
経常利益	▲ 26	+1	▲ 27
当期純利益	▲ 19	+1	▲ 21
信用コスト (△)	4	+1	3

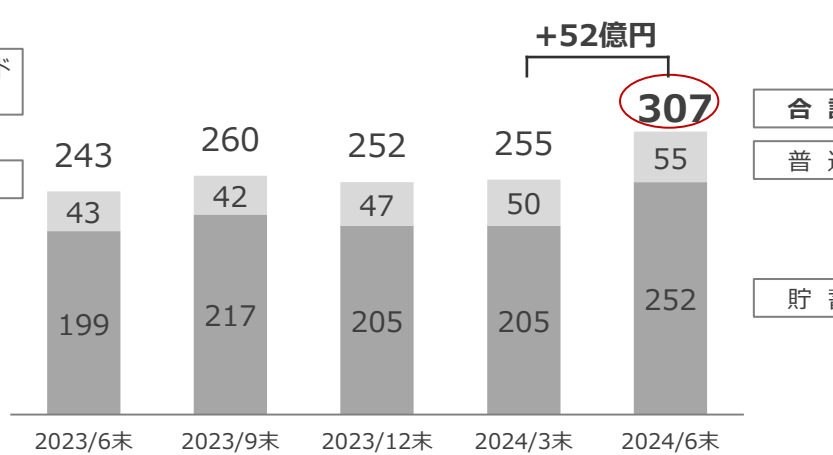
（参考）
2024年度 業績予想
（ ）は2024/1Q実績の計画対比進捗率

	2024年度	前年比	2023年度
	予想		実績
当期純利益 (20.5%)	▲ 95	▲ 2	▲ 93
信用コスト (△) (23.2%)	16	+2	15

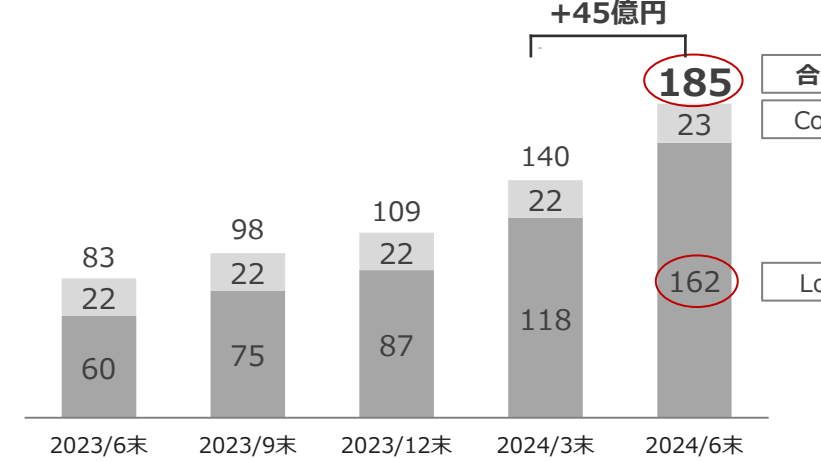
ダウンロード数と口座数（単位：万件）



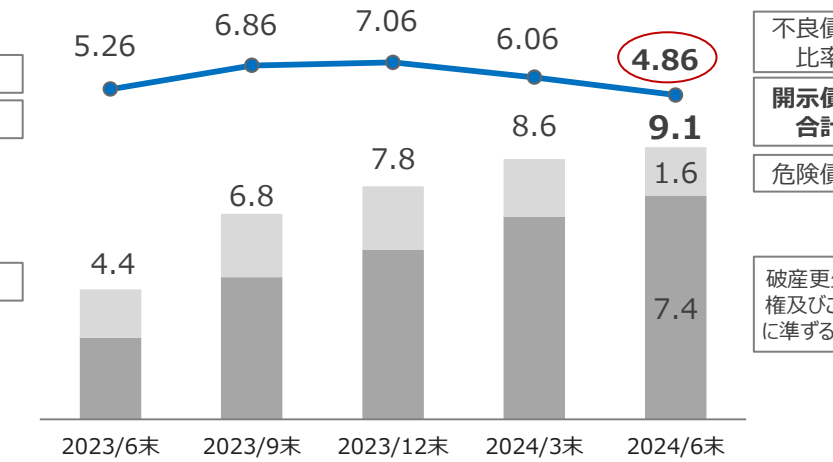
預金残高（別段預金を除く）（単位：億円）



貸出金残高（単位：億円）

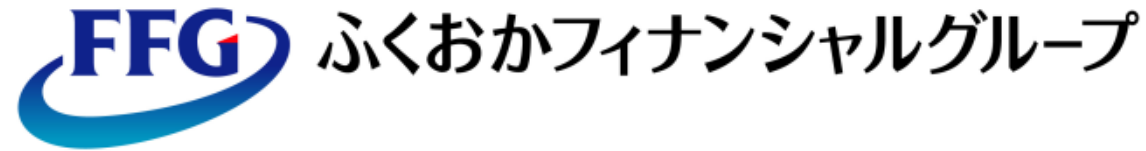


金融再生法開示債権（単位：億円、%）



（※）みんなの銀行及びゼロバンク・デザインファクトリーの合算（両社の内部取引相殺後）。

あなたのいちばんに。



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述された将来の業績に関する記述につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意下さい。